



# The Elegant Other: Cross-cultural Encounters in Fashion and Art

ファッションとアート 麗しき東西交流展

2017年4月15日[土]—6月25日[日] April 15 [Sat.]—June 25 [Sun.], 2017

開館時間 10:00—18:00 \*5月17日[水]は20:30まで(入館は開館の30分前まで) 休館日 木曜日(ただし5月4日は開館)、5月8日[月]

Hours: 10:00—18:00 \*Open until 20:30 on May 17 [Wed.] (Last admission 30 minutes before closing). Closed on Thursdays (Except May 4) and May 8 [Mon.]

観覧料 一般 ¥1,500 (1,300 / 1,400) 大学・高校生 ¥900 (700 / 800) 中学生 ¥600 (400 / 500) 小学生以下無料 65歳以上 ¥1,400 (要証明書、美術館売所でのみ対応) \*1)内は前売/団体(有料20名以上、要事前予約)

\*6月2日[金]は観覧無料 \*毎週土曜日は高校生以下無料(要学生証・学生証) \*障がい者手帳をお持ちの方と介護の方1名は無料

主催 横浜美術館、公益財団法人京都市京都市文化研究財団、日本経済新聞社、後援 横浜市 特別協力 株式会社ワコール、三菱一号館美術館 協力 日本芸術家協会、公益財団法人服飾文化研究会、みどり画廊、横浜ケーブルビジョンFM89.1MHz、青森県立美術館株式会社

\*お振込先行ペア券(1セット2枚、¥2,000)は1月15日から2月14日まで販売 \*前売券は2月15日から4月14日まで販売 \*チケットは横浜美術館ミュージアムショップ「セブンチケット」で販売 \*その他の各種割引金・チケット取扱いについてはお問合せください

横浜美術館 Yokohama Museum of Art 〒222-0012 横浜市西区みなとみらい3-4-1 Tel.045-221-3300 Fax.045-221-0317 <http://yokohama.art.museum>

[アクセス] みなとみらい駅「みなとみらい駅」から徒歩3分 / 日・横浜市営地下鉄線「桜木町駅」から徒歩10分

ターナー「イギリス」ドレス / 1870年代 / 京都市京都市文化研究財団蔵 / リチャード・ホ顿撮影

 横浜美術館  
YOKOHAMA MUSEUM OF ART

## ファッションとアート 麗しき東西交流

The Elegant Other: Cross-cultural Encounters in Fashion and Art

2017年4月15日(土) — 6月25日(日)

 横浜美術館

# PRESS RELEASE



飯田高島屋「室内着」 1906 (明治39) 年頃 京都服飾文化研究財団蔵 操上和美撮影

## 海の向こうへの憧れが、 新しい装いと美を生み出した——。

1859 (安政6) 年の開港以来、横浜は西洋の文化を受け入れ、日本の文化を海外に送り出す玄関口としての役割を担ってきました。この  
展覧会では、19世紀後半から20世紀前半のファッションと美術に焦点を当て、横浜を一つの拠点とする東西の文化交流が、人々の生活  
や美意識にどのような影響を及ぼしたのかを紹介します。

明治以降の日本では、西洋からもたらされたファッションやライフスタイルが、急速に人々の暮らしに浸透していきました。一方、西洋へ  
は日本の美術品や着物が輸出され、ジャポニスムのブームが起きました。日本と西洋の双方にとって、海の向こうの人々は、美しく珍し  
い衣服を優雅にまとい、自分たちのものとは異なる工芸品で日々を豊かに彩る、「麗しき」他者であったことでしょう。

横浜では初めての展示となる京都服飾文化研究財団 (KCI) 所蔵のドレスや服飾品約100点を中心に、国内外の美術館や個人が所蔵する  
服飾品、工芸品、絵画、写真など計約200点を展覧。日本と西洋が互いの装いと生活の文化をどのように受容・展開し、新しい美を見出し  
ていったかをたどります。(会期中、一部展示替えがあります)



## 本展のみどころ

### 1. ファッションとアートの麗しき競演。

世界屈指の服飾コレクションを有し、研究活動を行う京都服飾文化研究財団(KCI)と横浜美術館とのコラボレーションが実現。東西のファッションと、ジュエリーやテーブルウェアなど生活を彩った工芸品や絵画、写真がともに展示され、当時の人々の暮らしに思いを馳せることができます。

### 2. 京都服飾文化研究財団(KCI)が誇る ジャポニスムのドレスコレクションを一堂に公開。

ドレスのコレクションで世界的に名高いKCI。なかでも19世紀後半から20世紀初頭にかけて日本の着物の影響を受けた西洋のジャポニスムのドレスはコレクションの主軸の一つです。本展では、そのコレクションを20年ぶりにまとまった形で公開します。また、横浜美術館では初めての、ファッションを大規模に取り上げた展覧会です。

### 3. 東西の交流地点としての開港地横浜。 工芸品を中心にその文化を浮き彫りに。

19世紀後半、開港地横浜から輸出された工芸品や服飾品は西欧で人気を博し、ジャポニスムのブームが起きました。横浜は輸出用の工芸品の一大生産地となります。本展では活気に満ちた明治期の横浜から発信された“Made in Japan”の品々を多数展示します。

### 4. 明治期の洋装の最高峰、昭憲皇太后の大礼服。

女性のファッションの洋風化は、皇族や華族から始まったといわれています。特に皇室の服飾は、世界に向けて日本のエレガンスを象徴する重要な意味も担っていました。新年の朝賀の際に着用された昭憲皇太后の大礼服は、3メートル近いトレーンを引く豪華なドレス(マント・ド・クール)で、当時の縫製技術の粋を尽くして製作されました。大小の菊花が日本刺繍で施され、東西の文化が見事に融合しています。

### 5. 画家たちが描いた新しい生活スタイル。

東西を問わず、新しいファッションに身を包んだ女性たちは、いつの時代も作家にとって魅力的な画題です。特に19世紀後半は異国への憧れがファッションにも反映し、画家たちのイマジネーションを刺激しました。日本の画家たちは、洋服や西洋風装身具を身に着けた女性を描き、一方、西洋の画家たちも異国への憧れを込めて日本の着物をまとった女性を描いています。



ペール [フランス] 「イヴニング・ドレス」  
1919年頃 京都服飾文化研究財団蔵 林雅之撮影  
日本の伝統的な文様「青海波」と「四つ金輪」がシルバー・ビーズで刺繍されている。



ジュール=ジョゼフ・ルフェーヴル [フランス] 「ジャポネーズ(扇のことば)」  
1882年 油彩、カンヴァス 130.8×90.2cm クライスラー美術館蔵  
Gift of Walter P.Chrysler, Jr.  
日本に魅せられたフランス人画家ルフェーヴルが描いた着物姿の女性像。  
日本初公開。

# PRESS RELEASE

## 本展の構成

### 第1章 東西文化の交差点 YOKOHAMA



推野正兵衛商店「室内着」  
1875（明治8）年頃 京都服飾文化研究財団蔵 林雅之撮影  
絹羽二重に手刺しでキルティングを施した室内着。横浜本町の推野正兵衛商店から輸出された。

1859(安政6)年の開港以来、横浜は交易の拠点であるのみならず、東西の文化や情報が行き来する玄関口の役割を担いました。開港場には外国人居留地が設けられ、海岸近くには貿易のための商館やホテルが立ち並び、外国人向けの土産物屋が軒を連ねるようになりました。また、進取の気風に富んだ実業家や、優れた工芸技術を有する職人たちが、日本各地から横浜に集まりました。日本独自の意匠や繊細な技術と西洋人の嗜好を融合させた、真葛焼や横浜焼などの陶磁器、芝山細工の家具、羽二重のドレスなどが横浜の地で作られ、輸出されていきます。



初代 宮川香山「高浮彫桜二群鳩大花瓶」  
明治前期 陶磁器 各h.56.5cm  
田邊哲人コレクション（神奈川県立歴史博物館寄託）



歌川（五雲亭）貞秀「横浜交易西洋人荷物運送之図」 1861（文久元）年 多色木版（大判錦絵五枚続） 37.0×122.8cm 齋藤龍氏蔵



## 第2章 日本 洋装の受容と広がり



明治維新後、日本政府は西洋の国々に倣った近代国家をめざして西洋文化を積極的に導入し、人々の生活は大きく変化しました。皇族や華族が洋装を取り入れ、鹿鳴館では西洋風の舞踏会や音楽会が数多く開かれました。軍服や制服で早くから洋服を着用した男性に対し、女性は大正期までは和装が主流でしたが、髪飾りや指輪などの小物で徐々に洋装を取り入れていきました。画家や版画家、写真家たちはそのような洋装の女性たちをいち早くとり上げました。楊洲周延や月岡芳年は、文明開化の時代を生きる洋装の女性たちを当世風俗として錦絵に描きました。美人画で知られる鏗木清方も、当時流行した新しい洋風のアクセサリーを画中に細やかに描き込んでいます。

「昭憲皇太后着用大礼服」 1910年頃(明治末期) 共立女子大学博物館蔵



月岡芳年「風俗三十二相 遊歩がしたさう 明治年間 妻君之風俗」  
1888(明治21)年 35.6×24.1cm  
京都服飾文化研究財団蔵



天賞堂(イギリス製)「ペンダント付ネックレス」  
明治後期 プラチナ、真珠、ダイヤモンド  
ペンダントh.6.0cm、チェーンl.44.0cm  
日本宝飾クラフト学院蔵



山本芳翠「園田銚像」  
1885(明治18)年 油彩、カンヴァス  
61.3×50.7cm 郡山市立美術館蔵  
駐英領事・園田孝吉男爵の妻、銚の肖像。  
胸元には豪華なロケットが輝く。



鏗木清方「嫁ぐ人」  
1907(明治40)年 絹本着色、一幅  
182.8×115.4cm  
鎌倉市鏗木清方記念美術館蔵  
※5月20日からの展示

# PRESS RELEASE

## 第3章 西洋 ジャポニズムの流行



ガブリエル・シャネル [フランス] 「コート」 1927年頃 京都服飾文化研究財団蔵 操上和美撮影  
蒔絵のように繊細な金糸の菊の紋織が目目を奪う。



ルネ・ラリック [フランス] 「チョーカーヘッド《菊》」 1900年頃 金、エマイユ  
h.6.3×w.9.8cm 箱根ラリック美術館蔵 近藤正一撮影



ロイヤル・ウースター社 [イギリス] 「伊万里写ティーセット」 1881年 磁器  
ティーポット (蓋付) h.14.0×w.18.0cm、トレイh.2.0×d.37.0cm、他  
三菱一号館美術館蔵

19世紀後半、西洋では、パリやロンドンの万国博覧会に出品された日本の美術品や工芸品が注目を集め、ジャポニズムの大ブームが巻き起こりました。

日本の工芸品や着物は、高級百貨店などで販売されて急速に広まり、日本の文化に新しいイメージの源泉を求めたテーブルウェアや、調度品が制作されるようになりました。ファッション界においてもジャポニズムの影響は大きく、ウォルトやシャネルをはじめとする代表的なメゾンがこぞって、日本の着物にインスピレーションを得たドレスを発表しました。絵画作品にも、着物に身を包んだ西洋女性の姿が数多く描かれました。



キャロ姉妹 [フランス] 「イヴニング・ドレス」  
1908年頃 京都服飾文化研究財団蔵 操上和美撮影



ジャンヌ・ランヴァン [フランス] 「コート」 1929年  
京都服飾文化研究財団蔵 林雅之撮影

## 関連イベント

※申込方法など詳細はウェブサイトでお知らせいたします。

### 1. シンポジウム 「ファッションとアートにみる東西交流の諸相」

主催：横浜美術館、  
公益財団法人京都服飾文化研究財団、ジャポニスム学会  
日時：5月27日（土）13:30～16:30  
会場：レクチャーホール  
定員：240名（事前申込不要、先着順）  
参加費：無料  
内容（演題は仮題）：  
**基調講演**  
深井晃子（京都服飾文化研究財団理事／名誉キュレーター）  
「ファッションとしてのジャポニスム」  
**発表**  
1. 岡部昌幸（帝京大学教授）  
「ジャポニスムの広がり  
—19世紀末から20世紀の工芸・装飾美術・生活芸術」  
2. 周防珠実（京都服飾文化研究財団キュレーター）  
「輸出された室内着」  
3. 内山淳子（横浜美術館主任学芸員）  
「日本画に描かれた洋風ファッション」  
モデレーター：沼田英子（横浜美術館首席学芸員）

### 2. 講演会 「日本のジュエリーの歴史と美 —近代髪飾り、帯留め、指輪など」

講師：露木 宏（宝飾研究家、日本宝飾クラフト学院理事長）  
日時：4月22日（土）14:00～15:30  
会場：レクチャーホール  
定員：240名（事前申込不要、先着順）  
参加費：無料

### 3. 夜の美術館でアートクルーズ

閉館後の美術館で、学芸員の解説を聞きながらゆったりと作品をめぐる、特別な鑑賞会。  
日時：5月20日（土）19:00～21:00  
会場：企画展展示室  
対象・定員：18歳以上・60名（事前申込、先着順）  
参加費：3,000円

### 4. KCI & YMA キュレーターズ リレー・ギャラリートーク

4月28日（金）15:00～15:40  
沼田英子（横浜美術館首席学芸員）  
「横浜発のジャポニスム」  
5月12日（金）15:00～15:40  
内山淳子（横浜美術館主任学芸員）  
「描かれた洋風ファッション」  
5月19日（金）15:00～15:40  
周防珠実（京都服飾文化研究財団キュレーター）  
「KCIのドレス・コレクションについて」  
5月26日（金）15:00～15:40  
長谷川珠緒（横浜美術館学芸員）  
「ジュエリーの東西」  
6月9日（金）15:00～15:40  
坂本恭子（横浜美術館学芸員）  
「文様にみる東西交流」  
会場：企画展展示室  
参加費：無料（事前申込不要、当日有効の観覧券が必要）

### 5. ワークショップ

- ① 子どもの日・ワークショップ  
日程：5月5日（金）
- ② 「日本刺繍の魅力 鑑賞と創作体験」  
講師：岡田宣世（女子美術大学名誉教授／客員教授）  
日時：5月21日（日）13:00～16:00  
会場：市民のアトリエ、企画展展示室  
対象・定員：12歳以上・16名（事前申込、抽選）  
参加費：有料

## お得な情報

### 5月17日（水） 夜間開館 ポストカードプレゼント

開館時間を20:30まで延長します（入館は20:00まで）。18:00以降にご来館いただいた方に特製ポストカードをプレゼント。（先着100名）

### 6月2日（金） 横浜開港記念日は観覧無料！

どなたでも無料で展覧会をご覧いただけます。コレクション展とあわせてお楽しみください。

### 1月15日から2月14日までの 期間限定！ 先行ペア券2,000円を販売中。

通常一般料金1,500円のところ、1セット2枚で2,000円のたいへんお得な先行ペア券。当館ミュージアムショップ、「セブンチケット」にてお買い求めいただけます。2月14日までの期間限定販売をお見逃しなく！  
※2月15日から4月14日までは前売券（一般1,300円 大学・高校生700円 中学生400円）



# ファッションとアート 麗しき東西交流

The Elegant Other: Cross-cultural Encounters in Fashion and Art

会期 2017年4月15日(土) — 6月25日(日)

開館時間 10:00~18:00 (入館は17:30まで)

※夜間開館: 5月17日(水)は20:30まで (入館は20:00まで)

休館日 木曜日、5月8日(月)

※ただし5月4日(木・祝)は開館

主催: 横浜美術館 (公益財団法人横浜市芸術文化振興財団)、公益財団法人京都服飾文化研究財団、  
日本経済新聞社

後援: 横浜市

特別協力: 株式会社ワコール、三菱一号館美術館

協力: 日本宝飾クラフト学院、公益社団法人服飾文化研究会、みなとみらい線、横浜ケーブルビジョン、  
FMヨコハマ、首都高速道路株式会社

## チケット

	当日	前売	団体
先行ペア券	—	2,000円	—
一般	1,500円	1,300円	1,400円
大学・高校生	900円	700円	800円
中学生	600円	400円	500円
小学生以下	無料	—	—
65歳以上	1,400円	—	—

※要証明書、美術館券売所でのみ対応

チケット取扱い	横浜美術館 (先行ペア券、前売券はミュージアムショップ) セブン・イレブン店内マルチコピー機 [セブンチケット]
特典つきグループチケット	対象: 一般/大学・高校生/中学生の前売・当日券の3名以上 特典: 特製ポストカードを人数分プレゼント 取扱い: セブン・イレブン店内マルチコピー機 [セブンチケット]

※2017年6月2日(金)は観覧無料

※先行ペア券: 1セット2枚で2,000円

販売期間: 2017年1月15日(日)~2月14日(火)

※前売券販売期間: 2017年2月15日(水)~4月14日(金)

※団体は有料20名以上 (要事前予約)

※毎週土曜日は高校生以下無料 (要生徒手帳、学生証)

※障がい者手帳をお持ちの方と介護の方 (1名) は無料

※本展チケットで観覧当日に限り、横浜美術館コレクション展もご覧いただけます

※その他の割引料金については、別途お問い合わせください

### 横浜美術館

〒220-0012 神奈川県横浜市西区みなとみらい3-4-1

TEL: 045-221-0300 FAX: 045-221-0317

<http://yokohama.art.museum/>

### プレスリリースお問合せ

横浜美術館 広報担当 (宮野、藤井、市川)

TEL: 045-221-0319 FAX: 045-221-0317

E-mail: [pr-yma@yaf.or.jp](mailto:pr-yma@yaf.or.jp)